

炉のなごり

小間「實相庵」にて

- 初炭
- 透木(裏甲釜)
- 濃茶
- 薄茶



掛物 青山



茶入 旅枕



〔掛物〕 「青山」 即中齋宗匠

〔花入〕 信楽 旅枕||直方作

花 「椿・袖隠し」「赤目柏」

〔香合〕 おどり桐 萩||新兵衛作

〔釜〕 裏甲釜||喜平作

炉縁 杉木地

〔水指〕 信楽耳付 銘「峯の松」 即中齋判箱

〔茶入〕 因久山焼 文琳 遠州箱

仕服 遠州緞子

〔茶碗〕 織部||永楽作

替 尋牛齋||ニューデリー作

〃 松孤軒||陶正山作



釜 裏甲釜



香合 おどり桐 萩



水指 峯の松



水指 峯の松



茶入 文琳



茶碗織部



茶碗替 尋牛齋



茶碗替 松孤軒

〔茶杓〕 雪窓「閑不徹」

〔薄茶器〕 真塗中次||宗哲作

建水 木地曲

蓋置 竹引切 兼中齋判

〔菓子器〕 鮮桶 溜塗||岡專作

〔干菓子器〕 碌々齋好独楽 即中齋判||利齋作

菓子 「卯の花巻」「笹衣」「丘」「多湖の浦」

「春雷」||とらや製

〔干菓子〕 伊織

濃茶 猶有齋好「楽寿の昔」||柳桜園

薄茶 猶有齋好「清友の白」||柳桜園



蓋置 竹引切



干菓子器 碌々齋好独楽



〔炉のなごり〕 炉中の灰も多くなり、裏甲釜を使用

透木のあつかい方

〔炭点前〕 羽根香合の飾り方 あつかい方

座掃のあつかい方

〔小間〕

水指の位置

両器・仕服の置き用

曲建水のあつかい方

〔濃茶〕

仕服 中柱への掛け方

